

新潟民商

新潟民主商工会
新潟市中央区沼垂西3丁目10-14
電話 (243) 0141
15年4月27日

お店の改装・備品購入に最高100万円の補助

新潟市地域商店魅力アップ応援事業説明会



5月14日(木)午後2時

新潟民商会館

新潟市沼垂西3-10-14

講師 新潟市商業振興課

対象者	1 市内で小売業、飲食業、生活関連サービス業のいずれかを営んでいる者 2 申請日以前に1年以上継続して同一店舗にて同一事業を営んでいる者 3 次のいずれかに該当する小規模な店舗であること ・店舗にて常時使用する従業員数が5名以下の店舗 ・売場面積250㎡以下の店舗 4 初めて当補助金を活用する店舗であること 5 国、県、その他の地方公共団体等の制度による同一目的の支援を受けていない者 6 市税を完納している者 7 建築基準法、食品衛生法、その他関係法令に違反していない店舗であること
対象事業	店舗の魅力向上を図るために必要な改装工事や備品購入 (下記1~4に該当する場合でも対象とされない工事、備品を表面に明示しておりますのでご確認ください。) 1 店舗の新築、移転に伴う工事、備品購入ではないこと 2 補助対象経費(※)の総額が15万円以上であること 3 補助対象経費(※)となる取得価格が、1点あたり3万円以上の備品の購入であること ※ 消費税課税事業者の場合、補助対象経費は、消費税等仕入控除税額を除いた額です。
補助金額	補助対象経費の1/3(上限100万円)
募集期間	平成27年6月10日(水)~平成27年7月10日(金) ※先着順に受付し、申請総額が予算額に達し次第、早期終了する場合があります。 事業実施期間:平成27年度~平成29年度(予定)

おうせいな相談活動と要求運動で強く大きな民商をつくろう

全商連地方別活動交流会むけた決起集会

全商連副会長

太田義郎さんが新潟に激励に来ます

愛知県連選出の太田さんから、民商業者の果たす役割など語ってもらいます。六月二〇・二二日の全商連地方別活動交流会(新潟県は長野会場に三役と婦人・青年・共済の代表が参加)に向け拡大運動・要求運動を前進させることをめざしています。活動前進の決起集会です。たくさんの方の参加をお願いします。

5月12日(火) 午後6時30分

ユニゾンプラザ中研修室(5階)

お話しをする人 全商連副会長

太田義郎さん

民商からの活動報告

主催・新潟県商工団体連合会

新潟民主商工会

日程

- 五月一日(木) (事務局は午前中集會に参加しますので事務所を閉めさせていただきます。)
- 五月七日(木) 常任理事会
- 五月一〇日(日) 県婦協総会
- 五月一二日(火) 労働保険年度更新(二回目)

総合生協火災保険(住まいる共済)加入の方
更新手続きが始まりました

◆六月一日から新年度契約となります。支部や事務局から連絡がいきます。早めの更新手続きをお願いします。

春の運動ご苦労さん会

寺尾支部

四月一七日、寺尾支部の役員さんと担当事務局で春の運動と県・市議会選挙のご苦労さん会を会員さんのお店【居酒屋 宮ちゃん】で開きました。

始めに三富支部長から「申告、選挙とお疲れ様でした」との挨拶で乾杯をし、申告のことや選挙結果を大いに語り合いました。市議選で平さんがトップ当選したことにはみなさんとても元気が出たようで全員で喜びました。

また地域で独身者が増えていくことで事務局員も含めて合コンでも企画するかなどと冗談も飛び交い、楽しく飲んで大いに盛り上がりました。



新「沼垂テラス商店街」ひょうり訪問記

各地の商店街が苦戦している中であって、沼垂商店街が若者を中心に活気を取り戻しつつあります。かつて「沼垂市場通り」と呼ばれ、空き店舗が目立つ商店街でしたが、若手経営者を中心に「沼垂テラス商店街」と名称も含め生まれ変わりました。全二八店舗のすべての入居も決まり、近く全店がオープンします。

その沼垂の商店街を探索しようと事務局（中央・西ブロック）七名が四月一四日、対話訪問に出かけました。新潟民商と日本共産党が市に要望して実現した「地域商店魅力アップ事業」（最大一〇〇万円の助成金）の記事が掲載された全国商工新聞（三月二日付）を片手に、そして四月二六日に開催される新潟民商主催の「名刺交流会」の案内チラシも持って対話しました。中には民商の事を知っている人や「魅力アップ事業」を知っている人にも出会いました。

どの経営者も町おこしに熱心で、生き活きしていたのが印象的でした。事務局ではこれからも訪問対話を継続していこうと話合っています。第一回目（四月五日）に続く商店街の「朝市」は次回が五月三日です。商工新聞読者の皆さんの訪問が商店街を応援することになります。ぜひお出かけ下さい。

婦人部三役歓送迎会

四月一九日（日）、だいろの湯で歓送迎会が開催されました。旧副部長の早川さん（流作場）、黒井さん（亀田）、新副部長の卯田さん（内野）、和合さん（女池）を含め一五名が集まりました。

部長の挨拶から始まり、新旧の副部長からひと言。そのあと、「母親大会の物資について」今年日本母親大会が神戸、県母親大会が上越ということで物資の値段等相談したり、「訪問活動について」全婦人部員に署名袋を届ける活動について届け方を話し合いました。

そして、食べきれないほどの豪華な昼食タイム。早川さんと黒井さんにインタビューしました。早川さんは、婦人部歴四八年。（二四歳〜七二歳）四二歳の時部長になり、一〇年務め、その後副部長となりました。会員が四千人くらいの時、拡大・署名・集まりに奮闘したそうです。携帯が無い時代、電車の中にまで拡大報告の電話がきたこともあったとか。黒井さんは、婦人部歴十八年。初参加の母親大会が、一番思い出に残っているとの事。二万人の熱気と黒柳徹子さんの講演に感動。ドームホテルができた年で、野球観戦もできたそうです。婦人の活動としては、誕生日の贈り物を集まって製作。「足袋送り、たびたびみんなで会いたいね」と靴下を贈ったりしたそうです。お二人は、これからは理事として活躍してください。

温泉タイムは、卯田さんのやさしい施術に癒され、ゆったり満喫していました。お隣の種月寺（固定重要文化財）に散策に出掛け、銀木犀や枝垂れ桜をみえた方も。三役の交流を深めるいい機会になったと思います。

今後、五月十日（日）県婦協定期総会、五月一七日（日）所得税法第五六条廃止学習会とイベントが目白押し。参加して、婦人の交流を深めませんか？三役も訪問活動に奮闘する予定です。ご協力をお願いたします。

